

平成19年度 予算の執行状況 -2月29日現在-

平成19年度予算は、前年度からの繰越額と12月補正までを含む2月29日現在で、総額で62億3085万円となります。このうち一般会計は37億6772万円です。歳入の執行率は、77.7%です。国庫支出金と市債の執行率が低いのは、対象となる事業が完了した後(年度末)に交付などがあるためです。歳出の執行率は、72.6%です。土木費の執行率が低いのは、工事の完了や用地取得の時期が年度末になるものが多いためです。公債費は、年2回の償還の後期分が3月になるため、執行率が低くなっています。なお、一般会計年度内に歳計現金が不足した場合に、それを補うために借り入れる「一時借入金」の現在高は、2月29日現在ありませ

Table with 4 columns: 款, 予算現額, 収入済額, 執行率(%). Rows include 市税, 地方譲与税, 交付金等, 地方交付税, 分担金及び負担金, 使用料及び手数料, 国庫支出金, 県支出金, 財産収入, 寄附金, 繰入金, 繰越金, 諸収入, 市債.

Table with 4 columns: 款, 予算現額, 支出済額, 執行率(%). Rows include 議会費, 総務費, 民生費, 衛生費, 労働費, 農林水産業費, 商工費, 土木費, 消防費, 教育費, 災害復旧費, 公債費, 諸支出金, 予備費.

Table with 5 columns: 会計名, 予算現額A, 歳入収入済額B, 執行率B/A(%), 歳出支出済額C, 執行率C/A(%). Rows include 国民健康保険事業, 下水道事業, 老人保健医療事業, 介護保険事業, 合計.

Table with 3 columns: 区分, 現在高. Rows include 総務債, 民生債, 衛生債, 土木債, 消防債, 教育債, 住民税等減税補てん債, 臨時財政対策債, 下水道事業, 公共下水道債, 流域下水道債.

平成20年度予算

快適に暮らす 魅力あふれるまちへ

市民一人当たりの予算「284,489円」の使いみち

- 福祉・社会生活保障に (民生費) 81,071円 (28.5%)
道路・公園・計画的なまちづくりに (土木費) 59,074円 (20.8%)
行政の運営に (総務費) 35,349円 (12.4%)
学校や生涯学習に (教育費) 35,093円 (12.3%)
保健・ごみ処理などに (衛生費) 21,938円 (7.7%)
市債の元金や利子の償還に (公債費) 21,563円 (7.6%)
防災・救急に (消防費) 18,471円 (6.5%)
基金の積み立てなどに (諸支出金) 2,855円 (1.0%)
議会の運営などに (議会費) 2,410円 (0.8%)
商工業の振興などに (商工費) 2,317円 (0.8%)
農業・園芸の振興などに (農林水産業費) 2,002円 (0.7%)
雇用対策などに (労働費) 1,871円 (0.7%)
その他 475円 (0.2%)

※平成20年4月1日現在の人口126,184人で算出
かつこ内は構成比。割合は小数点第2位以下四捨五入で算出

財産などの状況

2月29日現在

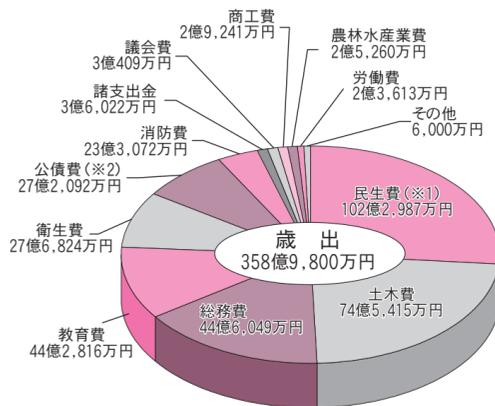
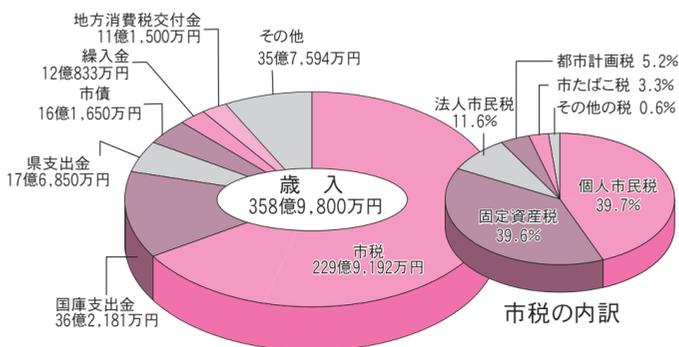
Table with 3 columns: 基金名, 現在高, 備考. Rows include 財政調整基金, 奨学金基金, まごころ基金, みどり基金, 市営住宅建設基金, 新まちづくり基金, 市債管理基金, 国民健康保険財政調整基金, 介護保険給付費等準備基金.

Table with 3 columns: 区分, 土地, 建物. Rows include 市庁舎, 消防施設, 学校, 公営住宅, 保育園, 児童館, 公民館, 公園, その他の施設, 小計, 田畑, 雑種地, その他の地目, 建物, 小計.

※建物以外は、公簿地目で分類

財政課 (☎235・8453)

平成20年度一般会計



(※1) 民生費=健康・福祉・子育て支援関連などの費用
(※2) 公債費=市が持っている借金の元金や利息を払うための費用

平成20年度 各会計別予算

Table with 5 columns: 会計名, 平成20年度当初予算額, 平成19年度当初予算額, 比較, 対前年度伸率(%). Rows include 一般会計, 国民健康保険事業, 下水道事業, 老人保健医療事業, 介護保険事業, 後期高齢者医療事業, 小計, 合計.

歳入

歳入のうち、最も大きな割合を占めているのが、市税の229億9192万円です。対前年度比は金額で87.14万円(率では0.4%)の増となりまし。これは、固定資産税や都市計画税の増によるものです。次

歳出

歳出予算を目的別に見ると、最も大きな割合を占めているのが民生費の102億2987万円です。対前年度比は金額で9億1086万円(同9.8%)の増となりまし。これは、小児医療費助成の対象年齢拡大や医療保険の制度改革などによるものです。次に高額のものは土木費の74億5415万円です。対前年度比は1億4661万円(同2.0%)の増となっています。これは、海老名駅自由通路整備(小田急・相鉄駅舎部)事業、さみ縦貫道関連の道路整備事業などによるものです。

平成20年度一般会計予算

主な事業の概要

- 今年度は、第四次総合計画の基本理念「ゆとりと活力のあるまち」、「安全安心で快適に暮らせるまち」、「支え合い、自治の確立したまち」を元にした将来都市像「快適に暮らす魅力あふれるまち 海老名」の実現に向けて、当面する諸課題に取り組みます。また、17年度予算から導入した包括予算制度や、事務事業評価により、既存事業の徹底した見直しを行うことで、財政健全化路線を継続します。
● 自治会集会所の建設資金
● 地域コミュニティ充実のため、これまでの建設補助に加え、無利子融資制度を新設します。
● えびなの森の創造
● 市民の地球環境を守る意識を高めるため、3年後の市制40周年に向けて、市民一人当たり1本に相当する植樹事業を始めます。事業は、企画から実施までの各段階で、市民や企業から参画を募って進めます。
● 小児医療費助成対象の拡大
● 今年7月から、小児医療費の助成対象を「小学校就学前」から「小学校6年まで(所得制限・利用者負担金なし)」に拡大します。
● 新生活・妊婦の全訪問指導
● これまでの訪問指導は、初めて出産する方または訪問を希望する方に行っていました。今年度から、赤ちゃんが生まれるすべての方を対象に訪問指導を実施します。
● 特定健康診査の補完
● 今年度からスタートした特定健康診査(40歳以上対象)の補完事業として、特定健康診査項目以外の成人健康診査を実施します。また、35〜39歳の市民を対象に「スタボリック予防健康診査」を実施します。
● 企業の振興策
● 市内に転入する企業や市内で移転する企業に対し、立地奨励金や環境施設奨励金等の支援を行います。また、中小企業や、企業立地の促進を図ります。また、人材育成や環境対策など企業の取り組みを支援します。
● (仮称)南仲道路の整備
● 海老名駅周辺地区と市南部を結ぶ地区幹線道路として、整備を進めています。今年度から22年度までの3年間は、東名高速道路横断部分の工事を進めます。
● 小中学校トイレの改修
● 小中学校の洋式トイレの割合を増やし、水なしで清掃できる「乾式」の床に改修するなど、学校のトイレのイメージを一新し、教育環境の向上を図ります。22年度までに、未改修の小中学校17校で工事を行います。
● 小中学校空調設備の整備
● 今年度は自由通路の本体整備や、小田急・相鉄乗り換え部のバリアフリー対策として、エレベーター・エスカレーターを設置するなど、整備が本格化します。
● 消防協力員の設置
● 消防団員減少などの諸問題を解消するため、消防団OBの方々から消防協力員を募集し、防災対策の充実を図ります。
● 消防署北分署の整備
● 今年度からの2年間で、耐震強度が不足している北分署の建て替え工事を行い、北部地区の消防・防災拠点の充実と、消防力の強化を図ります。
● 少人数指導の充実
● 昨年度、小学校の第1・第2学年で実施した35人学級を、中学校の第1学年にも導入します。
● 外国語教育の推進
● 小中学校に英語指導講師を配置し、英語を通じた実践的コミュニケーション能力の基礎を養い、国際文化への関心を理解を深めます。講師は、今年度7人、21年度以降に9人配置します。
● 小中学校トイレの改修
● 小中学校の洋式トイレの割合を増やし、水なしで清掃できる「乾式」の床に改修するなど、学校のトイレのイメージを一新し、教育環境の向上を図ります。22年度までに、未改修の小中学校17校で工事を行います。